

平成 30 年 12 月 13 日
京 都 府 立 植 物 園

2002年に発見されたラン!! フラグミペディウム・コバチーが開花しました

京都府立植物園の観覧温室で、「フラグミペディウム・コバチー」が開花しましたのでお知らせします。

本種は南米ペルー奥地、アマゾン川源流地域の密林に分布し、崖や斜面など厳しい環境で生育しています。標高は約 2000m で、冷涼かつ湿潤な気候を好みます。花径はフラグミペディウム属としては最も大きく 15 cm を越え、大輪のカトレヤに匹敵する大きさです。

日本では、東京ドームで毎年開催される世界らん展で、2009 年に初めて開花株が公開され、2013 年には日本大賞に輝きました。「過去 100 年で最も素晴らしいランの発見」と評され、大いに話題になりました。



学名：Phragmipedium kovachii

科名：ラン科

原産地：ペルー

京都府立植物園では 2015 年 4 月 9 日と 2017 年 2 月 19 日に 1 株ずつを導入し、バックヤードで栽培していたところ、最初の株は昨年、今年と 2 年続きで花芽が見えたものの、開花には至りませんでした。

昨年導入した株は今年の夏に花芽を確認した後、順調に花茎が伸び、今回開花に至りました。

開花期間は 1 週間ほどと思われますが、もう一つ蕾があり、順調にいけば 2 週間以上は楽しめる見込みです。

問合せ先

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町

電話：075-701-0141 FAX：075-701-0142

ホームページ：http://www.pref.kyoto.jp/plant/